

イオンチャネル創薬のための薬剤機能評価システム

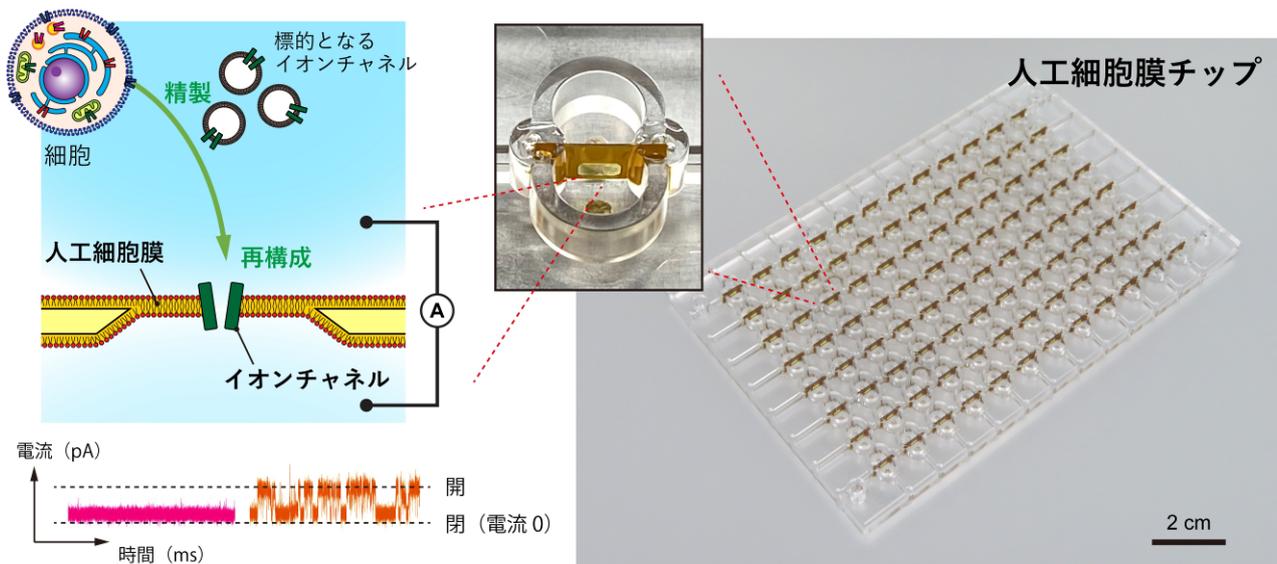
E-7

(株式会社 MAQsys¹, 神奈川県立産業技術総合研究所², 東大³)

○大崎寿久^{1,2}, 中尾賢治¹, 三村久敏², 高森翔², 竹内昌治^{2,3}

キーワード: イオンチャネル、オルガネラ、電気生理学的計測、薬剤スクリーニング

製品の概要、研究の背景や概要など



我々が考案した液滴接触法は、簡便かつ再現性良く平面脂質二重膜を形成する手法である。この技術を応用し、単一イオンチャネルのシグナルを並列計測可能なシステムを確立した。本システムの実用化開発を進め、イオンチャネル機能評価や薬剤スクリーニング等、創薬ツールとして事業化を目指している。

本システムの特長

薬剤候補物質に対するイオンチャネルの活性評価を実現

- ・ イオンチャネルの活性を1分子レベルで電気生理学的に評価
- ・ 形質膜に限らず、オルガネラ膜上のイオンチャネルの評価が可能
- ・ 夾雑タンパク質の影響を受けにくい計測原理
- ・ アレイ化によりデータスループットを向上

メッセージ

- ・ 事業開始に向けて、共同研究や受託分析を募集しています。イオンチャネルの機能評価や薬剤候補物質の評価に関してご興味のある方はぜひブースにお越し下さい。